【立地条件】	全国		主として北海道
【土地条件】	畑又は水田	畑又は水田	畑主体
【経営形態】	家族・専業（１戸１法人も含む）	法人	法人
【飼養形態】	肉専用種肥育 肥育牛200頭	肉専用種繁殖・肥育一貫 繁殖牛300頭 育成牛200頭 肥育牛500頭	交雑種・乳用種育成・肥育一貫 肥育牛1,000頭 （交雑種600頭 乳用種400頭） 育成牛430頭 （交雑種250頭 乳用種180頭）
飼養方式	牛房群飼	牛房群飼 連動スタンチョン、哺乳ロボット 発情発見装置、分娩監視装置	牛房群飼
給与方式	分離給与 自動給餌機	ＴＭＲ給与	分離給与 自動給餌機
【牛】			
分娩間隔	―	12ヵ月	―
初産月齢	―	23.5ヵ月齢	―
肥育開始月齢	８ヵ月齢	７ヵ月齢	交雑種７ヵ月齢、乳用種６ヵ月齢
出荷月齢	26ヵ月齢	25ヵ月齢	交雑種23ヵ月齢、乳用種19ヵ月齢
肥育期間	18ヵ月	18ヵ月	交雑種16ヵ月、乳用種13ヵ月
出荷時体重	740kg以上	740kg以上	交雑種790kg以上、乳用種775kg以上
１日当たり増体量	0.86kg以上	0.86kg以上	交雑種1.09kg以上、乳用種1.25kg以上
【飼料】			
作付体系及び単収	混播牧草4,200kg/10ａ 稲ＷＣＳ3,700kg/10ａ	稲ＷＣＳ3,700kg/10ａ イタリアンライグラス6,300kg/10ａ	混播牧草4,000kg/10ａ 青刈りとうもろこし6,000kg/10ａ
作付面積（延べ面積）※放牧利用を含む	7ha（7ha）	44ha（88ha）	76ha（76ha）
外部化	コントラクター	―	コントラクター
購入国産飼料	稲ＷＣＳ・飼料用米	稲ＷＣＳ・飼料用米・エコフィード	―
飼料自給率（国産飼料）	25%	45%	25%
粗飼料給与率	20%	40%	25%
経営内堆肥利用割合	３割	４割	５割